

B：宮城県コース 匿名希望

今回「東北応援ツアー」に参加させていただき、二日間という短い期間ではありましたが、東日本大震災について改めて深く考えさせられ、様々なことを感じる事ができました。とくに感じたことは、木村社長や佐々木社長、震災を経験された校友会の方々など、現地のどの方のお話を聞いていても、不安もある中でも希望を強くもちながら少しでも前に進もうとされていることでした。そんな被災地の皆さんの前向きな姿に胸を打たれ、直接お話しさせていただく中で逆に元気や勇気をもらえた気がします。

二日目の被災地見学では、南三陸町にある防災センターを目の前にして、この三階建ての建物を乗り越えたことを想像するだけで津波の恐ろしさを感じさせられました。また新聞などでも報道されていた防災センターで最後まで防災無線で避難を呼びか続けた女性の方や、この場所で亡くなられた職員の方を想うと言葉にできない気持ちになりました。その後向かった石巻では、いたるところに積み上げられた多くの車や瓦礫の山がとても印象的で、震災の規模を示しているように感じました。鉄の骨組みだけが残っている建物や崩れかけた建物が少し残っているだけで、写真で見た震災前の街並みとは、全くかけ離れた風景に驚きを隠せませんでした。そんな景色を見ていると当たり前前の生活ができていることの幸せを改めて考えさせられました。

この二日間、本当に貴重な時間を過ごすことができました。今回このようなツアーを企画運営してくださった方々に感謝して、訪問した中で見たこと、感じたことを一人でも多くの人に伝え、この震災をけして忘れないことが私自身今できることだと思います。今後も継続的な支援の中で被災地が復旧、復興していき、震災前のような活気ある街並みが一日でも早く戻る日が来ることを心から願っています。